

都市再生整備計画(第1回変更)

むろづみ ち く
室積地区

やまぐちけん ひかりし
山口県 光市

平成27年6月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	山口県	市町村名	ひかり市 光市	地区名	むろづみ ちく 室積地区	面積	17.1 ha
計画期間	平成 26 年度	～	平成 29 年度	交付期間	平成 26 年度	～	平成 29 年度

目標 安心して住める、活気に満ちた都市の実現 目標① コミュニティ活動の拠点の充実等により、コミュニティ活動の活性化を図り、活力を創出する。 目標② 防災活動拠点や避難場所の整備等により、地域住民の安全・安心に関する満足度を向上させる。
--

目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現況 室積地区は、光市の東南部に位置しており、白砂青松の室積海岸や国指定天然記念物の峨嵋山樹林など、貴重で豊かな自然が残されている地区である。 また、古くからバス交通や離島航路の結節点であるとともに、祭りや地域活動が盛んな地区でもあり、これまで、自治会や公民館を中心に様々なコミュニティが形成され、まちづくりや地域の活性化において重要な役割を果たしてきた。 一方で、近年、少子高齢化をはじめとした社会経済情勢の変化などにより、従来のコミュニティでは解決できない課題の発生や、コミュニティそのものの存続といった課題が生まれている。 このような課題に対応するために、平成22年度からコミュニティ機能のあり方について市民検討会議などを行いながら検討を進め、平成24年3月に(仮称)室積コミュニティセンター整備基本構想を策定した。同じく平成24年3月に策定した都市計画マスタープランにおいては、室積地区を「地域における交流の場・憩いの場として、地域のコミュニティ機能や生活支援機能の充実したまちを目指す地域拠点地区」として位置付けており、コミュニティ機能などの充実に向けて、コミュニティ活動の拠点となる(仮称)室積コミュニティセンターの整備事業等を進めている。 また、光市は「安全・安心都市宣言」のまちであり、全市的に、地域力を結集して、安全で安心な暮らしを実現できるまちづくりにむけた取組みを展開していくこととしている。
--

課題 <ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化等の社会経済情勢の変化により、従来のコミュニティでは解決できない課題の発生や、コミュニティそのものの存続といった課題が生まれている。 一方で、従来のコミュニティ活動の拠点としての役割を担ってきた室積公民館は耐震性確保やバリアフリーへの対応等が課題となっており、地域づくりの中心を担うべき新たなコミュニティ活動の活動環境・拠点の整備が必要である。 また、安全・安心に対する市民意識の高まりなどの時代の潮流の中、防災活動の拠点や、災害時の避難場所等の整備・機能充実が必要である。

将来ビジョン(中長期) 都市計画マスタープランにおいて、光市の将来都市像として、「人の活力と豊かな自然環境が調和した 多核連携によるコンパクトな都市」を掲げているが、室積地区については、総合計画基本構想及び都市計画マスタープランにおいて、多核連携型都市構造の中の、【地域拠点地区】の1つに位置付けており、地域における交流の場・憩いの場として、地域のコミュニティ機能や生活支援機能の充実した、地域の特性が活かされたまちを目指すこととしている。
--

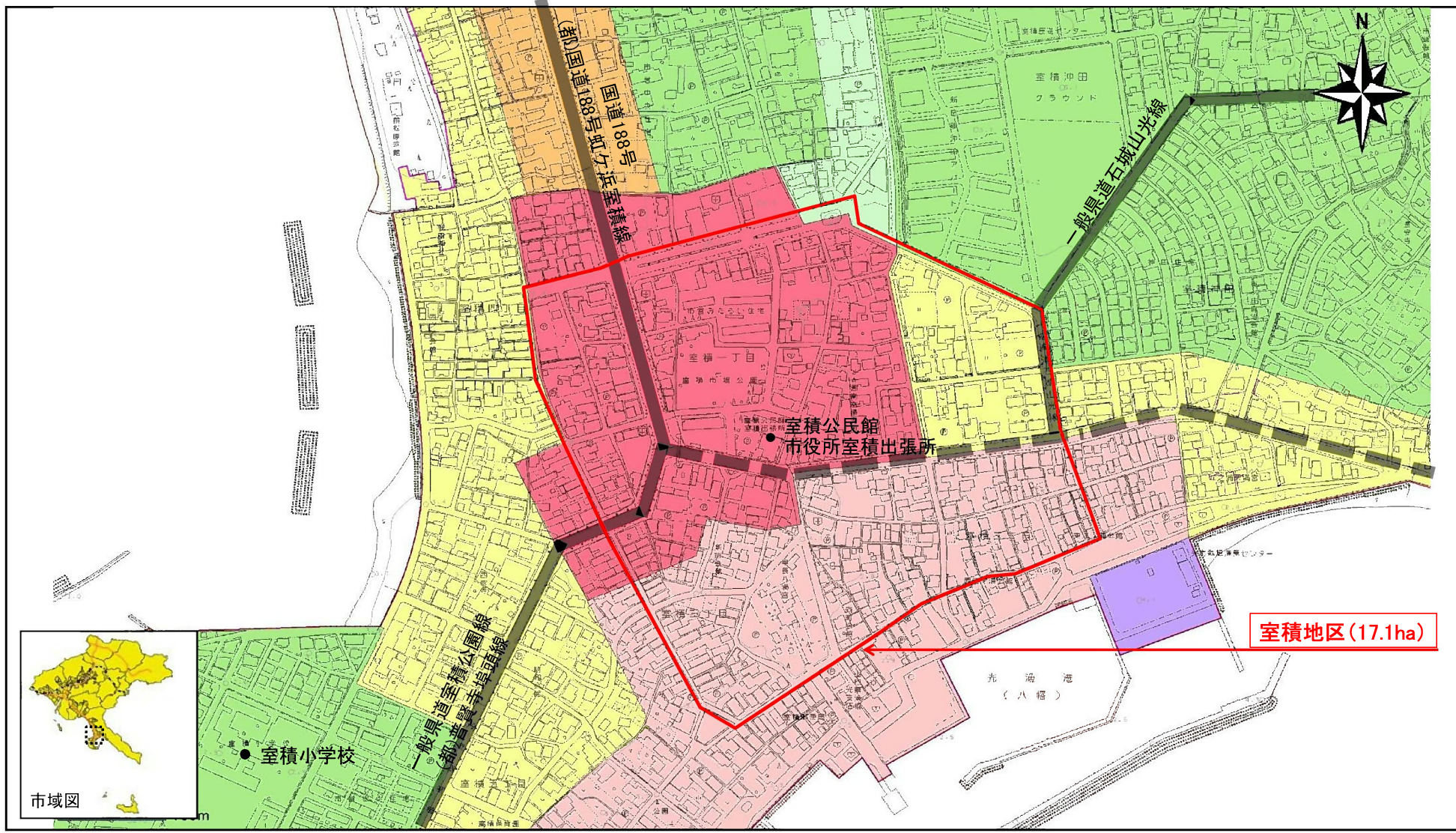
目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値		
				基準年度	目標年度		
センター施設利用者数	人／年	コミュニティ活動拠点施設の利用者数	活動拠点機能の充実など活力創出の地域づくりにより、人口減少下において施設の利用者数の現状維持を見込む	18,599人／年 (室積公民館)	24	18,600人／年 (センター施設)	29
拠点施設の満足割合	%	アンケート調査における室積地域住民の拠点施設の満足割合	拠点施設の整備・機能充実など活力創出の地域づくりにより、拠点施設の満足割合の倍増を見込む	8.4% (満足・少し満足)	22	15.0%	29
安全・安心に関する満足割合	%	アンケート調査における室積地域住民の安全・安心に関する満足割合	防災活動の拠点の整備など安全・安心の地域づくりにより、安全・安心に関する満足割合向上を見込む	29.4% (満足・少し満足)	24	38.3%	29

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・整備方針① コミュニティ活動等の拠点の整備・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティ活動を活性化させるため、市民が自主的かつ主体的にコミュニティ活動に参加できるよう、センター施設を整備し、地域コミュニティ活動の拠点機能の充実を図る。 ・ センター施設に併設して、暮らしに潤いとやすらぎを与える公園を整備し、地域コミュニティ活動の拠点機能の充実を図る。 ・ コミュニティ活動拠点へのアクセシビリティ向上のため、道路及び案内サインを整備する。 ・ コミュニティづくりワークショップを開催し、地域コミュニティの育成・強化や組織づくりの検討を行い、コミュニティ活動の活性化を図る。 ・ 地域住民・コミュニティ組織等との協働によるセンター施設のオープンイベントを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 【基幹事業】高次都市施設：(仮称)室積コミュニティセンター整備事業 ・ 【基幹事業】公園：室積市場公園整備事業 ・ 【基幹事業】道路：荒神堂線整備事業 ・ 【基幹事業】地域生活基盤施設：案内サイン整備事業 ・ 【提案事業】事業活用調査：事業効果分析調査事業 ・ 【提案事業】まちづくり活動推進事業：地域交流センターオープンイベント ・ 【提案事業】まちづくり活動推進事業：コミュニティづくりワークショップ
<p>・整備方針② 防災活動拠点や避難場所等の整備・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域を見守る防犯ボランティアの活動拠点となる施設を整備する。 ・ 災害時の避難場所となり得る施設を整備するとともに、施設に災害時の非常電源としても活用できる太陽光発電システムを整備する。 ・ 災害時の避難場所となり得る公共オープンスペースとしての公園を整備する。 ・ 道路照明施設を整備し、夜間の交通の安全を確保する。 ・ 地域住民の生活環境を改善させるとともに、災害時には重要な防災基盤となる地区道路を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 【基幹事業】高次都市施設：(仮称)室積コミュニティセンター整備事業 ・ 【基幹事業】公園：室積市場公園整備事業 ・ 【基幹事業】道路：荒神堂線整備事業 ・ 【基幹事業】道路：江の浦3号線整備事業 ・ 【基幹事業】道路：道路照明施設整備事業 ・ 【関連事業】太陽光発電システム：太陽光発電システム
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事業終了後の継続的なまちづくりの展開について <ol style="list-style-type: none"> 1 都市づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 長期計画である都市計画マスタープランに基づき、計画的に都市づくりを推進する。 2 市民と行政の協働による都市づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 「共創と協働で育む まちづくり」の基本理念の下、これまで以上に多様な主体のまちづくりへの参加を促進し、意欲あふれる取組みを支援する。 3 市民への情報の開示 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市が有するまちづくりに関する情報等について、時代の変化に応じた提供や発信を行い、市民との共有に努める。 	

都市再生整備計画の区域

室積地区(山口県光市)	面積 17.1 ha	区域 室積一丁目の全部と、室積二丁目、三丁目、四丁目の各一部
-------------	---------------	-----------------------------------



室積地区(17.1ha)



● 室積小学校

● 室積公民館
市役所室積出張所

光 滝 池
(八 幅)

(都)国道188号虹ヶ丘室積線
国道188号

一般国道石城山光線

一般国道室積公園線
(都)普賢寺室積線

むろづみ やまぐちけん ひかりし
室積地区(山口県光市) 整備方針概要図

目標	安心して住める、活気に満ちた都市の実現 目標① コミュニティ活動の拠点の充実等により、コミュニティ活動の活性化を図り、活力を創出する。 目標② 防災活動拠点や避難場所の整備等により、地域住民の安全・安心に関する満足度を向上させる。	代表的な指標	センター施設利用者数 (人/年)	18,599 (H24年度) → 18,600 (H29年度)
			拠点施設の満足割合 (%)	8.4 (H22年度) → 15.0 (H29年度)
			安全・安心に関する満足割合 (%)	29.4 (H24年度) → 38.3 (H29年度)

